

教育の質の向上に関わる取り組み

1. 実践的指導力育成のための学校現場研修の充実

- ・近隣6市の教育委員会との教育提携により、1年生は1年間、2年生は半年間、学校現場での研修を通して、学校現場の状況を知るとともに学習サポートやTTを行って、教師の役割や授業技術、指導方法を学ぶ。また、学校行事などの補助を通して、教師の役割や指導方法を学ぶ。さらに教育現場で求められている「児童・生徒を理解する力」「生徒指導力」「ホームルーム経営の力」などを身に付ける。
- ・学んだこと、指導されたことなどはすべて日誌に記録する。担任は、必ずコメントをして日誌を返却するが、現場での悩み事や疑問に思ったことなどは、総合教養演習の時間に話し合いを行うとともに、専門の教員がアドバイスをを行う。
- ・1年次からの学校現場研修をさらに充実させるために、本学部附属秀明八千代中学校で1年間にわたって研修「教職インターンシップ」（3・4年生希望者）を実施する。週1回勤務し、授業・HRの補助、放課後の補習などの学習サポートにあたり、およそ1カ月に1度の授業実習を行い授業力の向上を図る。また、校外行事の引率補助、学校行事の支援、放課後の部活動の支援など体験活動のサポートを行う。
- ・3年次の9月に、系列の中学・高校で、授業とHRの実習を行う。実際に教壇に立つことで、指導技術の向上を図るとともに、4年次の教育実習の事前準備をする。

2. 「公開研究授業」の実施

- ・本学部が行ってきた教育の成果を、4年生の代表が公開授業という形で発表し、評価を仰ぐ。系列校の中学・高等学校の生徒を対象に、テーマに沿った授業を行う。
- ・県教育委員会の指導主事の先生方から直接ご指導いただき、それを学生、大学の教員、公立・私立の中高の教員と一緒に研究協議し、授業の改善に役立てる。
- ・教師を養成する大学と、受け入れる側の教育委員会との交流を図り、大学は教員養成のあり方について見直しを図る。

3. 「ふるさとの教育研究」の実施

- ・本学の教育研究所教授の紹介・案内により、2年生の夏季休業中に、県教委や教育研修センター等を訪問して、郷土の教育施策の特色や教育課題、教員研修の在り方等を見聞し、教師になるための姿勢を確立するとともに、「郷土の教育の振興と発展に貢献する教員」を養成する。

4. 「学校教師検定」の実施

- ・本学独自の「学校教師検定」を2年次末、3年次末の2月に実施して、学修成果の検証、確認を行うとともに、教師として必要とされる資質能力を診断し、その後の学修の指標とする。
- ・検定の内容は、専門教養、教職教養、論作文の筆記試験の他、集団面接、集団討議、模擬

授業および体育・音楽の実技試験が行う。

5. 教職課程における新たな取り組み

(1) アクティブ・ラーニング

- ・「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善」は「教職概論」「教科教育法」「授業研究」をはじめ多くの授業で、グループディスカッションやディベート等を取り入れるとともに、アクティブ・ラーニングの進め方等について教え、模擬授業等で学生が実施する。

(2) 小学校外国語活動（「外国語科（仮称）」）への取り組み

- ・「外国語活動」への対応は現行の科目で行われている。実践面を中心に『小学校英語教授法』『ティームティーチング研究』、理論面（学習指導要領の理解）を中心に『英語活動と英語教育』、初等英語の学生には、履修指導を通じて、『小学校英語教授法』と『英語活動と英語教育』を必ず履修させている。
- ・今後の「外国語科（仮称）」への対応は、新指導要領告示（2017年3月）と合わせて文科省からの指針（審査基準）を受けて新科目を設置する。
- ・引き続きイギリス留学（英語専修は5カ月間、それ以外の専修の学生は4週間のイギリス留学）を実施する。現地の英国人教員による授業を受け、英語の実践的運用力を身につけると共に、ケント州内の小中学校を視察し、授業を参観したり、実際に児童・生徒とともに授業を受けたり、日本文化を紹介したりする。

(3) ICTを用いた指導法への取り組み

- ・「教育の技術と方法」「初等ICT教材研究」などで、電子黒板、タブレット、デジタル教科書などを使えるようにするとともに、教育方法技術の一つとして活用することを教え、ICT活用の授業指導案などを作成する。
- ・学校教師学部B棟の実践演習室E、Fは、そのための教室としている。
- ・昨年度および一昨年度の「公開研究授業」のサブテーマを「ICTの活用を通して」として、電子黒板、タブレットを用いた授業を公開した。

6. 授業改善アンケートの実施

- ・授業アンケートを前・後期各2回実施して、教職科目に関する指導方法等について学生の意見を聞き、改善を図る（1度目のアンケートで指摘された事項に対しては、2度目のアンケートの結果、改善されている授業がほとんどである）。